



ふ れ あ い  
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

ワクチン接種の秋～ご希望の方はお早めに～

本格的に秋を感じさせる今日この頃です。市民の皆さまには、日頃から南あわじ市政に格別のご理解とご協力をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染の第5波は緊急事態宣言を経て、やや縮小しています。本市のワクチン接種状況は、9月12日時点で、12歳以上の方のワクチン接種予約状況が全体で8割を、2回目の接種率も6割を超えました。これからの方は、電話での予約も可能ですが、インターネットでの予約がお待たせすることが無く便利です。案内に記載している、二次元コードをスマホやタブレットで読み取って、接種券番号等を入力いただくなど、簡単手続きで行うことができます。本市の集団接種は、10月31日をもって終了予定ですので、接種をご希望の方は、お早めにご予約ください。なお、医療機関での個別接種は11月以降も接種できます。

先日、パラリンピック東京大会の柔道に日本代表で出場された正木健人選手が本市を訪問くださいました。今大会はメダルに届きませんでしたが、すでに次のパリ大会に向けて決意を新たにされているとのこと。その闘志に私どもも勇気づけられました。ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

続くコロナ禍の一方で、少しずつ経済を活性化させていくことも必要です。9月末日までの南あわじ市連合商店街プレ

ミアム付商品券に引き続き、9月21日からは南あわじ市の農畜水産物生産者を応援することを目的とした、デジタル地域振興券「おいしく応援!みな得グルメ券」を発売しています。5,000円の購入で6,500円分ご利用いただける(上限一人30,000円)ものとなっています。利用期間は10月1日から来年の1月7日までです。利用可能な店舗は、十分な感染防止対策を講じている店舗のみですので、安心してご利用いただけます。ぜひご利用ください。

10月に入り台風シーズンが本格化します。台風の接近が予想された場合、本市では、まず台風準備会議あるいは、災害対策本部会議を招集します。災害対策の準備体制に入った時点で、危機管理担当部署においては、24時間体制で備えることになります。状況を見つつ、避難指示の発令や避難所の開設をはじめとする方針を決定し、対応します。その実施にあたっては、本市の誇る消防団、建設業安全安心協会、淡路広域消防、南あわじ警察をはじめ、多くの方のご尽力をいただいています。この場を借りましてお礼申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染予防行動の徹底とともに、台風など自然災害についても、気象情報および市が発表する避難情報などに十分ご注意ください。

皆さまとの協働により、今年も自然災害の被害が最小に留まることを願っております。

感染症対策にご協力をお願いします

- ・3密を避ける
- ・マスクの着用
- ・手指の消毒
- ・不要不急の外出を避ける
- ・室内や移動の車内などでは換気を十分に行う

吉備国際大学からのお知らせ  
秋学期の開始

新型コロナウイルス感染症対策に徹しながら、秋学期の講義が始まりました。

原則、対面授業としていますが、今後の状況によってはオンラインと対面を併用したハイブリッド型で講義をする場合もあります。状況がどう変化したとしても、学生の学修機会を確保できるよう努めて参ります。醸造学科は新設から4年目を迎え、来年3月に初めての卒業生を輩出します。卒業に向け、多くの学生が就職先も決め、卒業研究に取り組んでいます。残り半年間、悔いのない学生生活を送り、社会へ出る準備をしてもらいたいです。

地域の皆さまには引き続きお世話になりますが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700

スマートフォンで  
防災情報を受け取れます

県・市からの防災情報を受け取れる「ひょうご防災ネット」のアプリ版が公開されています。

利用方法

「App Store」または「Google Play」からダウンロード

☎ひょうご防災ネットサポートセンター

✉ support@bosai.net



守本市長に助成決定書を手渡す朝日田智昭常務理事(左)

新しい防災拠点整備へ  
B & G財団から助成

南あわじ市は、B & G財団(東京)から防災拠点整備費として3年間で最大3900万円の助成を受け、文化体育館(北阿万)に新たに防災倉庫を設置し、防災資機材を配備します。同財団は、災害時に必要な資機材の配備などを支援する「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築

事業」を全国で行っており、第1期となる今年度は、南あわじ市を含む20道府県の25市町で実施されます。事業では、油圧ショベルやスライドダンプ、救助艇、エアテントなどの資機材を配備するほか、市職員や消防団員がいざというときに活用できるように研修も行います。



菊地幸夫さんによる講演会

人権を身近な課題に  
啓発イベント開催

人権問題についてイベントを通じて学ぶ「じんけんサマーフェスティバル2021」が8月22日、湊地区公民館で開催されました。会場では、オンライン配信による「ウォーターアートの菊地幸夫さんが自らの体験をもとに人権について語る講演会が行われました。

北阿万出身の正木健人選手  
東京パラリンピック出場



東京パラリンピックに出場した正木選手

8月29日にあった東京パラリンピックの柔道男子100kg超級に、北阿万出身の正木健人選手が出場しました。正木選手は先天性の弱視でしたが、南淡中学校入学を機に柔道を始め、3年生で全国大会2位。育英高(神戸市)、天理大(奈良県)と強豪校に進学して技を磨きました。徳島県立盲学校に入学後に視覚障害者柔道

に転じ、パラリンピックでは2012年のロンドン大会で金メダル、16年のリオデジャネイロ大会で銅メダルを獲得しました。コロナ禍を乗り越えて挑んだ今大会は3大会連続のメダルをめざしましたが、初戦の準々決勝、敗者復活戦で敗退し、メダル獲得はなりません。3年後のパリ大会を見据える正木選手。「何事も前を向いて、悔いのないように取り組みたい」と話していました。

100歳高齢者を  
市長が祝福訪問



守本市長(右)と祝状を手にした眞野さん

9月2日、守本市長が、市内に居住で令和3年度中に100歳を迎える人を訪問し、祝福しました。市長から祝状を手渡された眞野晋さん(市)は、「健康の秘訣は何でも食べることに。入歯がないことが自慢」と笑っていました。今年度、市内で100歳を迎える人は、男性5人、女性25人の計30人です。